



NTT労働組合退職者の会 高知県支部協議会

通信

2006年10月20日 第29号

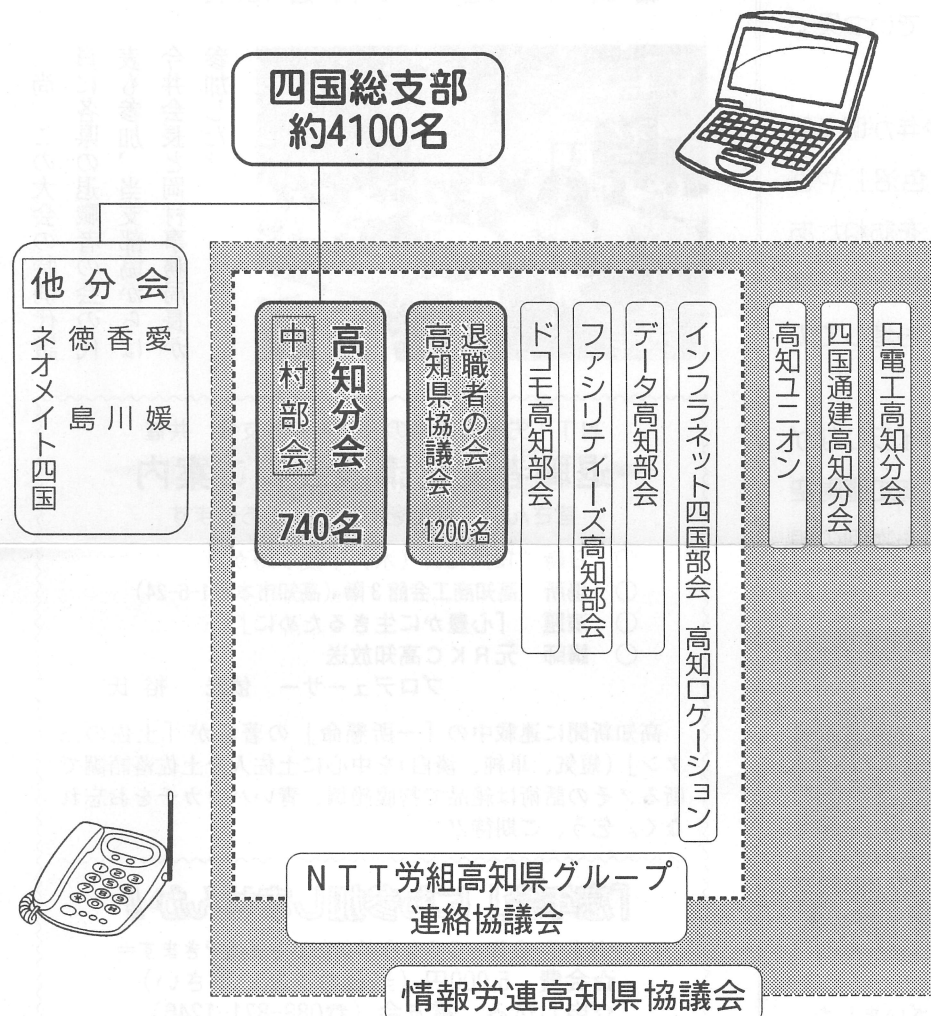
NTT労働組合退職者の会
高知県支部協議会
会長 今井 智

〒780-0841 高知市帯屋町 2-5-11
TEL 088-821-3800 FAX 088-873-3313

NTT関係労組の 新たな組織体系

NTT関係の労組は、今年七月の会社組織の変化から、労組組織も大幅に見直しされました。

高知県関係も「図」に示された様な組織形態となり、退職者の会は従来通り「NTT労組高知県グループ連絡協議会」との連携のもとに活動を進めることが確認されています。



労働条件の維持・向上をめざし

NTT労組高知県グループ連絡協議会
会長 田岡 章



十年間仕事をした後、四国総支部役員として松山で四年間勤務し、帰ってまいりました。どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、NTTを取り巻く環境は年々厳しさを増しています。四年前に構造改革を断行し、NTT・ネオメイト・マーケティングアク

ト・ビジネスアソシエの四社に分社してきましたが、その後の電力系事業者を中心とする「光」への参入に対抗するための措置として、七月に再度会社を統合し新たな体制を構築しました。また、これまでは会社に対置した分会組織でしたが、会社統合にも合わせ「高知

分会」と「ネオメイト高知分会」を統合し、新たな「高知分会」を結成しました。(左欄参照)
厳しい時代であるからこそ、労働組合の存在価値が問われるものと認識し、組合員の雇用確保、労働条件の維持・向上をめざすとともに、退職者の会の皆さんとも連携し、「現退一致」の取り組みをすすめる所存です。今後とも私たちが現役を叱咤激励していただくようお願い申し上げます。いさつと致します。

各地区で NTT現役とOBの集い

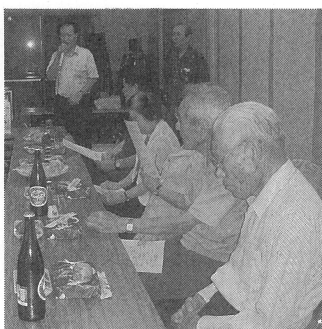
須崎地区

NTT須崎OB会では、NTT労組と退職者の会の協力を得て、現役とOBの「集い」を実施しました。毎年恒例になり今年も八月十九日、現役・OB含め三十四名の参加でした。最初に現役労組・退職者の会支部協の各代表から現状報告があり、続いて懇親会に移り、最近ではNTT須崎の廃止等で仲間が一同に集まる機会が少なく、久しぶりの旧交を温める会となりました。



いの地区

いの町居住者会議は、例年を上回る暑さの中、八月二十六日、いの町枝川の「高齢者生きがいセンター」で開かれた。労組を代表してNTT労組高知県グループ連絡協議会の田岡エリア長（現在は分会長）、退職者の会から



は今井会長、大平顧問、武田幹事が参加。地元の速渡幹事の司会により田岡エリア長からNTTの組織改正や当面する諸問題の説明、今井会長からは退職者の会の現状報告ならびに本年度のOB親睦旅行は電友会と合同実施になった経緯、行き先等の説明と参加要請。また十二月十三日（水）に実施予定の文化講演会の周知等がなされた後、懇親会に移ったが会員同士の思い出話や、カラオケで自慢ののどを張り上げるなど楽しい時間を満喫。和気あいあいの雰囲気の中に来年の再会を誓い合った。

現場第一

新分会体制でスタート!!

NTT労組四国総支部の第五回定期大会が、八月四～五日に松山市で開催された。

冒頭、四国総支部の井原委員長は、①新たな業務運営体制後の諸問題については、分会との連携強化 ②竹中懇談会のNTTアクセス機能問題や持株会社廃止等は、労働問題に直結するので監視が必要 ③我々が

目指す「情報通信政策」実現と国民の暮らしを守るために、来年の統一自治体選挙・参議院選挙に、組織内候補の「吉川さおり」さんを先頭に闘う。ことに統一自治体選で高知市議の「近藤強」君の必勝で闘いに弾みをつけよう等と力説された。

大会は、新たな事業体制に見合った労組組織の再編（二面参照）も決定した。



尚、この大会の特別代議員に各県の退職者の会の代表も参加、当支部協からは今井会長と岡村事務局長が参加した。

NTT労組退職者の会 高知電友会 共催

退職者文化講演会のご案内

皆さんのご参加をお待ちしております

- 日時 12月13日（水）午後3時から
- 場所 高知商工会館3階（高知市本町1-6-24）
- 演題 「心豊かに生きるために」
- 講師 元RKC高知放送

プロデューサー 依光 裕 氏

高知新聞に連載中の「一所懸命」の著者が「土佐の三タン」（短気、単純、淡白）を中心に土佐人を土佐落語調で斬る！その話術は絶品で抱腹絶倒、青いハンカチをお忘れなく。乞う、ご期待!!

『忘年会』にも参加しませんか!!

=NTT-OB・OGならどなたでも参加できます=

☆会費 5,000円（当日お支払い下さい）

☆申し込み 電友会（☎088-871-1246）

楽しさ2倍!! OB親睦旅行

雄大な南東北の初秋を満喫

今年の退職者親睦旅行は、昨秋以来検討・協議を重ねた結果、退職者団体の枠を超え、高知電友会と合同で、去る9月27日～29日までの2泊3日で、60名のOBと家族が初秋の南東北の旅を満喫した。

初日は、早朝の高知龍馬空港から東京・羽田空港まで大空をひとつとび。不順な天候をものともせず、東京でチャーターしたバス2台に分乗。高知の道路混雑の数倍の車が行き交う首都高速から快適な東北道を北上。日本最大の「もみじ谷大吊橋」、唄で名高い「磐梯山」を眺望しつつ、猪苗代湖畔で世界の細菌学者「野口英世」記念館を見学後、会津磐梯山の民謡にも歌われている東北の名湯「東山温泉」に投宿。夕食は、旅のもう1つの目的でもある「酒と余興」でいつ果てるともない盛り上がりぶりをみせた。

また、2日目は明治初期の悲運の地「会津・白虎隊の少年が眠る飯盛山」「鶴ヶ城や蔵の街・喜多方」初秋感漂う裏磐梯「五色沼」や吾妻小富士を「浄土平」から眺望。義経ゆかりの「医王寺」を訪ねたあと、広大な日本庭園の中に露天風呂のある「飯坂温泉」のホテル「聚楽」で老化防止にとばかりの温泉三昧。夕食時には前夜にも増しての大フィーバーで東北の美酒に酔いしれた一夜であった。

3日目は、渋滞の激しい首都高速のノロノロ運行にイライラしながら、東京の新名所「お台場」で昼食をかき込み、羽田から高知龍馬空港へ両手いっぱいのお土産とともに全員無事到着し、早くも次回の親睦旅行へ思いを馳せつつ家路に着いた。

今回の合同旅行の意義を踏まえ、今後の親睦旅行の発展を目指し、当会と電友会で協議を深めることにしている。



会津鶴ヶ城の前で記念撮影
ご参加いただいた皆様、ありがとうございました



退職者共済支払い状況

（二〇〇六年六月～八月末日まで支払分）

お祝い

☆米寿（二件）

田中 笹美 様

☆喜寿（五件）

楠目昭一郎 様

立石 猛 様

山本秋次郎 様

森本 静子 様

増田 進 様

井上 善猛 様

井上 幸子 様

お悔み

☆本人死亡（三件）

和食 卓夫 様

織田 一 様

畠山 幸枝 様

☆配偶者死亡（二件）

伊与田小枝子 様

山口 須磨子 様



第12回

どうナッチュウが?



今、医療現場が「療養病床再編問題」でゆれにゆれている。無理もない!!

先の通常国会で決まった「医療制度改革関連法」のとおりとなれば、今、八〇九五床ある県内の療養病床が三〇〇〇床ほどとなり、その差約五〇〇〇床がこの再編で無くなるからだ。

なかでも、その八割ほどが集中する中央保健福祉圏の医療機関の困惑振りを見るも痛ましい。

私たちは、この問題を医療機関の「ことと他山の石」化してはいけない。何故なら、その成り行き次第は即私たちのこれからにかかわってくるからだ。

悪法でも「法は法」という。私たちは、こういうことがまかり通る世の中を、何としても変えていなくてはならない。